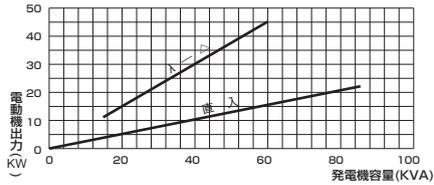


水中ポンプについて

水中ポンプご使用にあたって

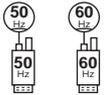
■電源容量はポンプを回せるだけの容量を持っていますか？

発電機を使用される場合は、概算表のような数値が必要になります。



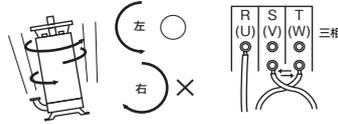
■電圧/周波数はポンプと合っていますか？

60Hz地区で50Hz用のポンプを使用されると過負荷の原因になります。また、50Hz地区で60Hz用のポンプを使用される場合は性能不足のトラブルが発生します。



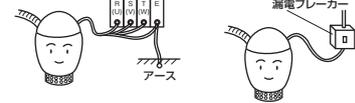
■回転方向を確かめましたか？

ポンプを上から見て電源を入れた時、反動で反時計方向に回れば正常です。もし、逆転していればケーブル3芯の内、2芯を入れ替えてください。
※羽根車はポンプを上から見て時計方向に回転します。



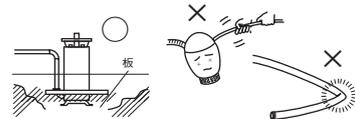
■電源の接続/アースは確実に接地してください。

危険防止のためアースは確実に取ってください。また、電源側には必ず漏電ブレーカーを取り付けてください。



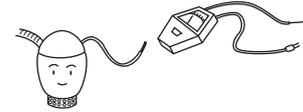
■ポンプの据付は確実にできましたか？

ポンプは宙吊りにするか、下に板を敷いてストレーナーが泥中に埋まらないようにしてください。また、ホースを極端に折り曲げたり、ケーブルを引っ張ったりしないでください。



■絶縁抵抗を測定してください。

長期でのご使用の場合、定期的な絶縁抵抗を測定してください。(500Vメガテスターで1メガオーム以上ある事をご確認ください。)



■キャブタイヤケーブルの継ぎ足し長さにご注意ください。(下記の一覧表を参考にしてください。)

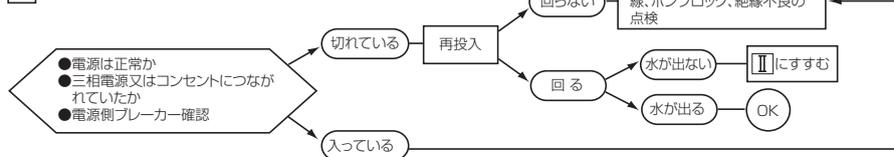
出力 (電流値)	断面積 (ケーブル)		1.25mm ²		2.0mm ²		3.5mm ²		5.5mm ²		8.0mm ²		14.0mm ²		22.0mm ²		30.0mm ²	
	2%	5%	2%	5%	2%	5%	2%	5%	2%	5%	2%	5%	2%	5%	2%	5%	2%	5%
2.2KW(11A)	15m	37m	24m	59m	41m	103m	65m	162m	94m	236m	165m	413m	260m	649m	354m	885m		
3.7KW(16A)			16m	41m	28m	71m	45m	111m	65m	162m	114m	284m	179m	446m	244m	609m		
5.5KW(23A)					20m	49m	31m	78m	45m	113m	79m	198m	124m	311m	169m	423m		
7.5KW(31A)							23m	58m	34m	84m	59m	147m	92m	230m	126m	314m		
11.0KW(45A)									23m	58m	40m	101m	63m	159m	87m	216m		
15.0KW(60A)											30m	76m	48m	119m	65m	162m		
19.0KW(67A)													43m	107m	58m	145m		
22.0KW(88A)													32m	81m	44m	111m		

2% 5% 内線規定では標準電圧の2%と定められていますが、現実的には5%まで使用可能です。(参照: 鶴見ポンプ資料集より)

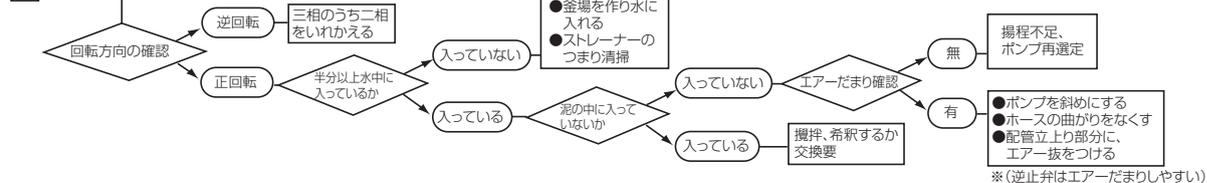
トラブルシューティング

水中ポンプ

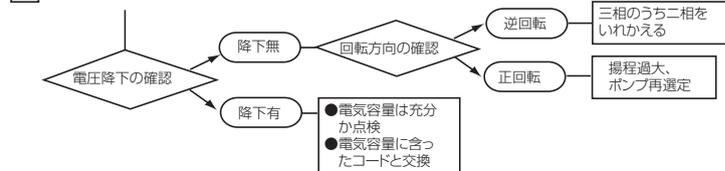
I 回らない



II 水がでない(出が悪い)



III 運転と停止をくり返す



※(逆止弁はエアアタリしやすい)